



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 日本ルツボ株式会社
コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 正志
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部長 (氏名) 広野 玲緒奈

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,839	27.8	11		3		18	82.2
2020年3月期第1四半期	2,548	4.4	141	12.7	156	9.9	100	10.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 35百万円 (62.1%) 2020年3月期第1四半期 92百万円 (18.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	13.23	
2020年3月期第1四半期	73.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	10,671	4,660	43.7	3,464.12
2020年3月期	10,927	4,721	43.2	3,492.71

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,660百万円 2020年3月期 4,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響が関連業界に広く及んでおり、業績への影響の合理的な算定が極めて困難なことから、差し控えさせていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,409,040 株	2020年3月期	1,409,040 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	63,887 株	2020年3月期	57,387 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,345,431 株	2020年3月期1Q	1,351,653 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の急速な悪化が続きました。自動車を中心とした輸出の落ち込み、工場の稼働停止等の生産活動の抑制により、企業の業況判断は大幅に悪化しております。先行きについては、経済活動の制限緩和により持ち直しに向かうことが期待されていますが、感染症の再拡大への警戒感もあって、きわめて不透明な状況となっています。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、国内販売が外出自粛の動きを受けて前年比大きく減少しており、国内生産も販売の低迷に伴う工場の稼働停止等により前年比著しく落ち込んでおります。

鉄鋼産業は、自動車をはじめとする鉄鋼需要産業の感染症による大幅な落ち込みの影響を受けて粗鋼生産量が減少し、総じて厳しい状況が続いております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18億3千9百万円と前年同四半期比27.8%減少いたしました。利益面では、営業損失が1千1百万円（前年同期 営業利益1億4千1百万円）、経常損失が3百万円（前年同期 経常利益1億5千6百万円）、また親会社株主に帰属する四半期純利益は1千8百万円（前年同四半期比82.2%減）となりました。

①事業の分野別業績

鑄造市場向けは、売上高は7億9千3百万円（売上高比率43.1%）と前年同四半期比21.7%減少いたしました。

鉄鋼市場向けは、当社がメンテナンスを担当している溶鉱炉の休止（バンキング）などにより、売上高は2億1千1百万円（売上高比率11.5%）、前年同四半期比48.5%と、大幅に減少いたしました。

溶解炉・環境関連市場向けは、売上高は6億8百万円（売上高比率33.1%）と前年同四半期比23.6%減少いたしました。

海外市場向けは、感染症の影響で海外出張ができなかったことなどから、売上高は1億1千9百万円（売上高比率6.5%）、前年同四半期比47.4%と、大きく減少いたしました。

不動産事業は、売上高1億7百万円（売上高比率5.8%）と前年同四半期比5.3%増加いたしました。

②事業の種類別セグメントの業績

種類別セグメントの売上高は、耐火物事業の売上高は11億1千8百万円（売上高比率60.8%）と前年同四半期比27.4%減少し、営業損失は1千3百万円となりました。エンジニアリング事業の売上高は6億1千4百万円（売上高比率33.4%）と前年同四半期比32.3%減少し、営業利益は7千4百万円となりました。不動産事業の売上高は1億7百万円（売上高比率5.8%）と前年同四半期比5.3%増加し、営業利益は6千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比1億7千2百万円（2.6%）減少し、63億7千3百万円となりました。主として、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比8千4百万円（1.9%）減少し、42億9千8百万円となりました。主として、製造設備の減価償却によるものです。

これにより、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億5千6百万円（2.3%）減少し、106億7千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億1千9百万円（3.1%）減少し、37億6千9百万円となりました。主として、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比7千6百万円（3.3%）減少し、22億4千1百万円となりました。主として、長期借入金の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比6千1百万円（1.3%）減少し、46億6千万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は43.7%（前連結会計年度末は43.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、引き続き、配当予想とともに、未定としております。予想の開示が可能となり次第、すみやかに公表いたします。